

経験者試験 論文試験

【一般行政（DXを除く）】

少子高齢化が進む中、地域活動の担い手不足が生じている。地域の活力を維持し、共に助け合い誰一人取り残さない社会を実現するためには、県民、NPO、企業などあらゆる主体が連携して共助の取組を進める必要がある。

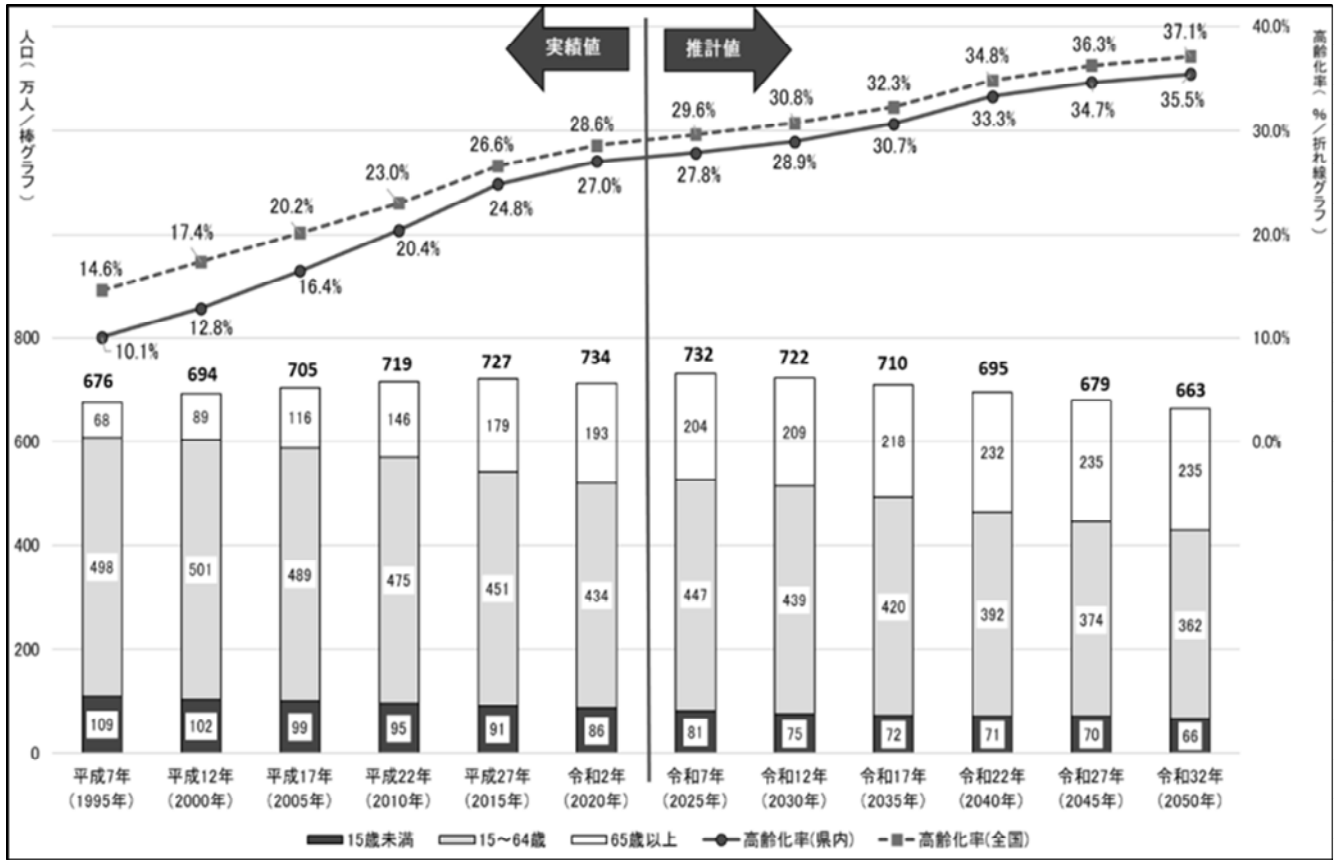
そこで、多様な主体による地域社会づくりを推進するため、県としてどのように取り組んだらよいと考えるか、あなたの考えを900字以上1,100字以内で論じなさい。

経験者試験 論文試験

【一般行政（DX）、福祉、心理、設備、総合土木、建築、農業、林業】

別添の資料やあなたが日ごろ感じている社会に対する問題意識などを踏まえ、日本人と外国人が共に地域を支え合う多文化共生社会を実現するために、あなたが重要であると考え課題とその理由を論じるとともに、その課題の解決のために行政としてどのような取組を行うことができるかを、900字以上1,100字以内で論じなさい。

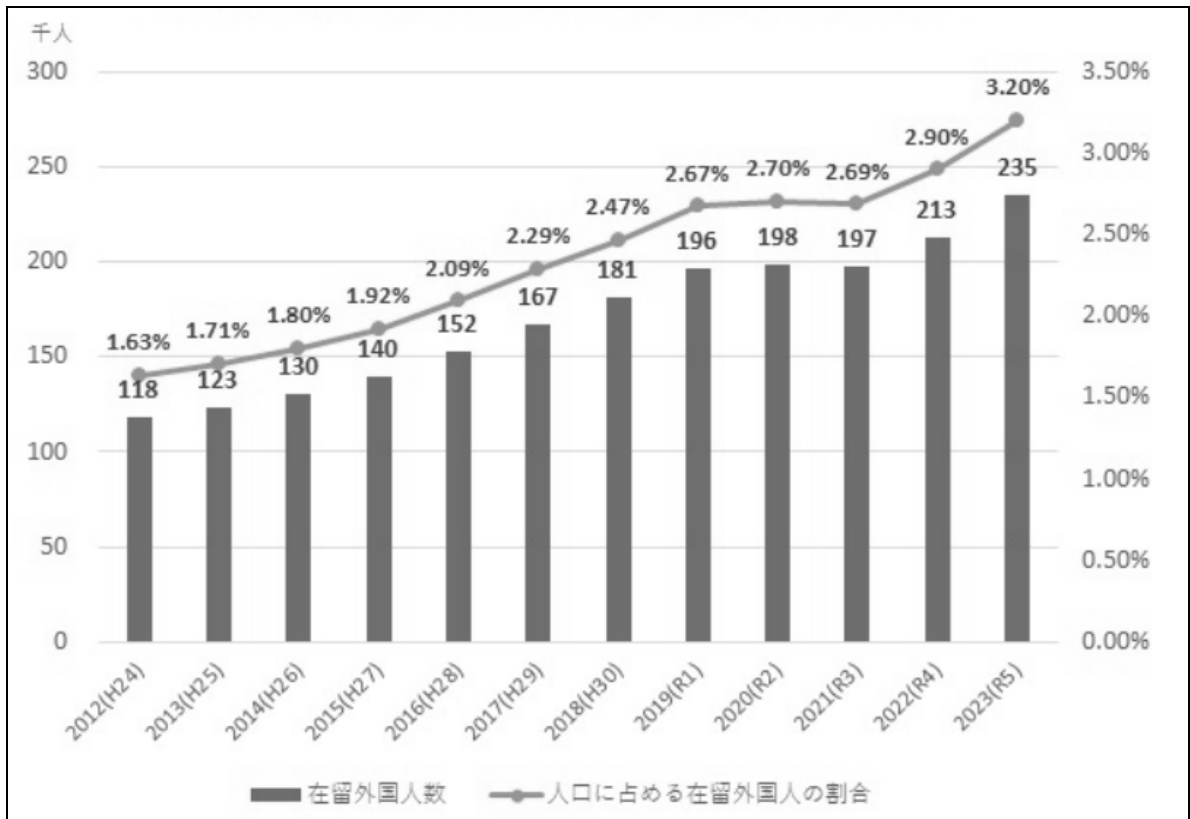
【資料 1】 本県の人口及び高齢化率の推移と見通し（年齢 3 区分）



(出典) 総務省「国勢調査」及び国立社会保障・人口問題研究所「日本の地域別将来推計人口（令和5（2023）年推計）」に基づき埼玉県が作成した「第9期埼玉県高齢者支援計画（令和6年度～令和8年度）」

(備考) 国勢調査の人口総数には、年齢不詳を含むため、年齢3区分別人口の合計とは一致しない。
令和2年の高齢化率は不詳補完値による。

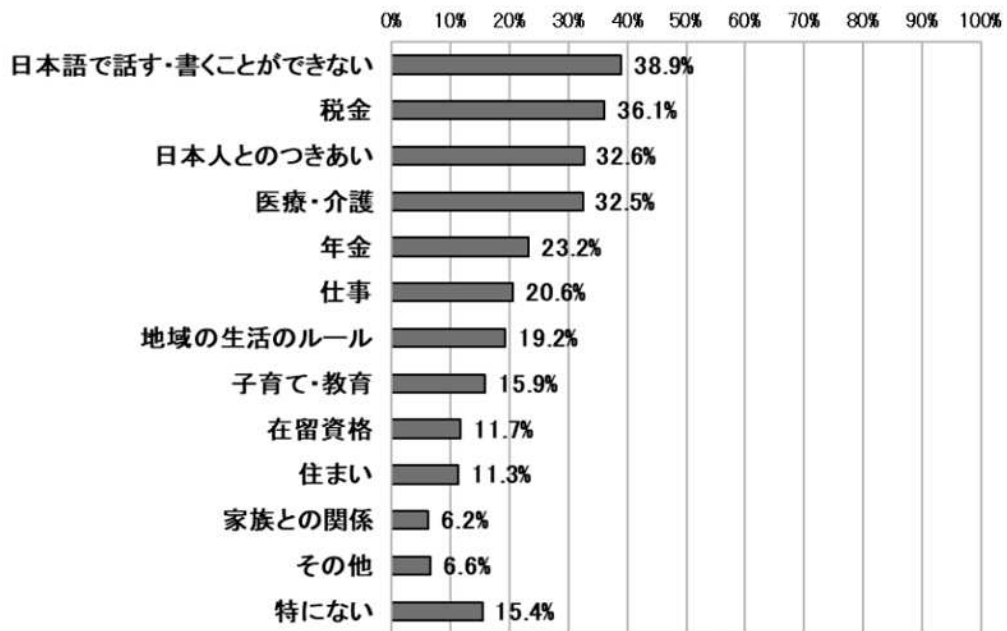
【資料2】在留外国人数及び人口に占める在留外国人の割合（埼玉県）



(備考) 在留外国人数：法務省「在留外国人統計」及び「報道発表資料」における各年12月末現在の値。人口に占める在留外国人の割合：埼玉県「埼玉県人口推計」の各年10月1日現在の値をもとに算出。

(出典) 埼玉県「外国人雇用に関するデータ」

【資料3】外国人が生活で困っていること（埼玉県）

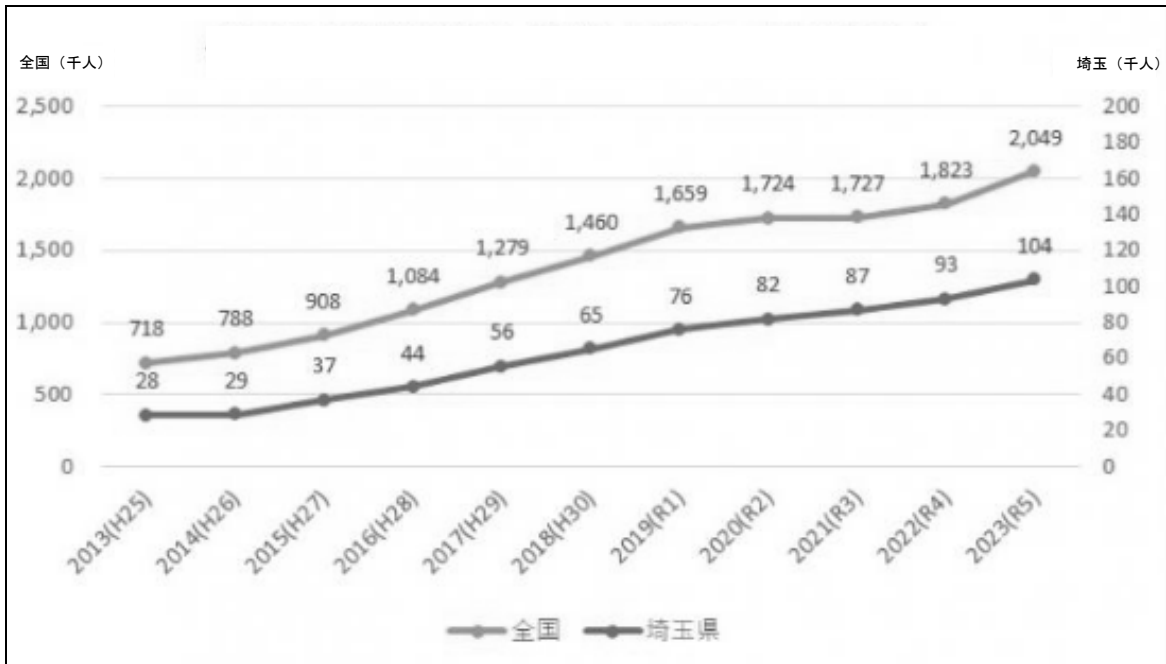


（備考1）調査対象は埼玉県内在住の外国人で681人が回答。「生活で困っていることは何ですか」という質問に対する回答（複数回答可）。

（備考2）グラフ数値は、有効回答者数を基数として算出した回答比率である。

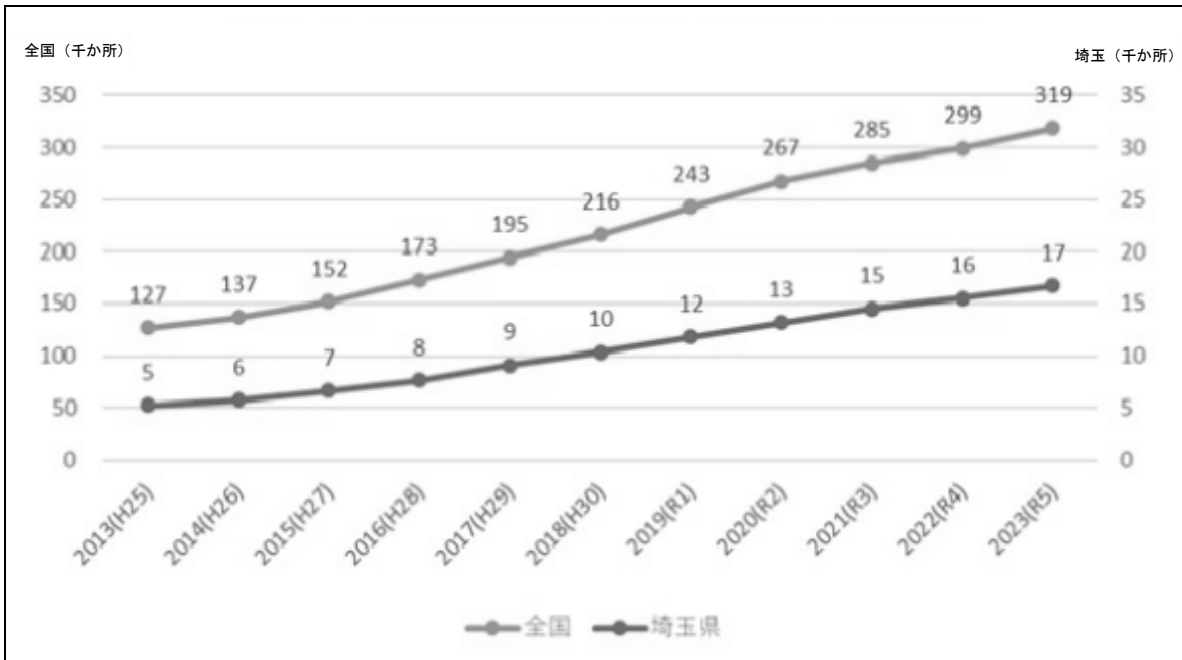
（出典）埼玉県「令和5年度埼玉県外国人住民意識調査」（令和6年2月）

【資料4】外国人労働者数の推移（各年10月末現在）



(出典) 厚生労働省「『外国人雇用状況』の届出状況まとめ」及び埼玉県労働局「『外国人雇用状況』届出状況まとめ」に基づき埼玉県が作成した「外国人雇用に関するデータ」

【資料5】外国人雇用事業所数の推移（各年10月末現在）



(出典) 厚生労働省「『外国人雇用状況』の届出状況まとめ」及び埼玉県労働局「『外国人雇用状況』届出状況まとめ」に基づき埼玉県が作成した「外国人雇用に関するデータ」

経験者試験 論文試験

【司書】

県民が主体的に自分や地域の将来を考え、持続可能な社会の実現に参画するために、県立図書館が果たすべき役割について、あなたの考えを700字以上900字以内で論じなさい。